

慈泉
武
俳句・
川柳集

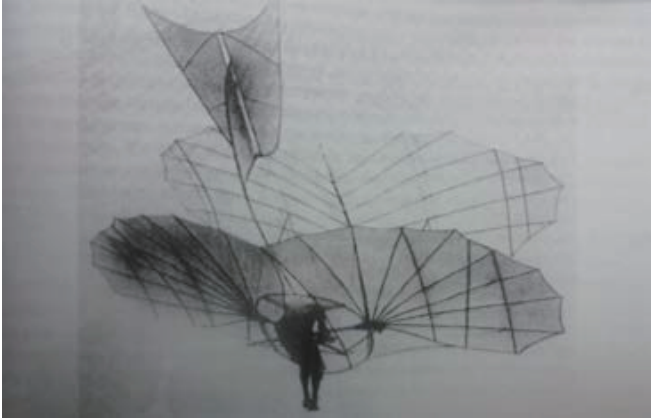


中川
武夫
編

慈泉
武
俳句・川柳集

中川
武夫
編





はじめに

慈泉 武は、過去に俳句集を編むことがなかった。句集刊行は、本書が初めてであり、現在判明している武の句をできるだけ多く収録し、その全貌を明らかにすることに努めた。

令和三（2021）年2月6日

白山寓居にて 編者記す

粗大ごみ 消ゆれば香る 春来る

なんとなし 変わった風と 秋の草

筋雲の 上にぽっかり あわの雲

野守去り 鳥居崩れて 咲く椿

佳き人を 蹴落としやつと 勲四等

文科相 文句あるなら 受けてみる

老後なき 新たな時代 始まりぬ

野柿の実 赤き見れど 秋の空

一徹人 藁を編んで 冬じたく

日落ちて 山の灯白く 秋の風

やまと歌 心を種に 開く和花

続きは
完成版で
お楽しみ下さい。